



The Japanese Association for Humanistic Psychology

日本人間性心理学会

第41回大会



回帰、そして飛翔

プログラム・発表論文集

2022年

9月4日(日) ワークショップ(京都国際会館)

9月10日(土)・11日(日) オンライン開催

大会準備委員長 中西 龍一 京都橘大学

事務局長 中西 美和 大阪女学院大学



JAHP

The Japanese Association for Humanistic Psychology

日本人間性心理学会 第41回大会



回帰、そして飛翔

プログラム・発表論文集

会期・形式

2022年

9月4日(日) ワークショップ(京都国際会館)

9月10日(土)・11日(日) オンライン開催

大会準備委員長

中西 龍一 京都橘大学

事務局長

中西 美和 大阪女学院大学

INDEX

ご 挨 拶	1
日本人間性心理学会第41回大会 開催概要	2
大会 日 程	3
参加者の皆さまへのご案内	6
座長の先生方へのご案内	7
研究発表・自主シンポジウムを行う方へのご案内	8
ランチタイム交流スペースのご案内	9
講 演 一 覧	10
ワークショップ一覧	11
自主シンポジウム一覧	12
口頭発表一覧	13
ポスター発表一覧	15
発表論文集	
準備委員会企画	18
奨励賞受賞記念講演	19
学会賞受賞記念講演	20
ワークショップ	22
自主シンポジウム	28
口頭発表	36
ポスター発表	56
発表演者索引	68
大会準備委員会	69
協賛ご芳名・賛助会員	70
日本人間性心理学会 歴代大会一覧表	71

ご報告をご挨拶に代えて

日本人間性心理学会第41回大会

大会準備委員長 中西 龍一

依然として新型コロナウイルスの感染動向は、予断を許さない状況にあり、現在オミクロン株の一種、「BA.5」の第7波と呼べる感染拡大が止まりません。コロナウイルス来襲から3度目の夏、テレビニュースは東京、近畿（兵庫、大阪、京都）で1日の新規感染者数が3万人を超えたと告げています。ご存じのように、日本人間性心理学会2020年第39回大会と2021年第40回記念大会は、コロナ禍のなか、他の多くの学会と同様に、コロナウイルス感染拡大防止のため、全面オンライン形式での開催が余儀なくされました。

なるほどオンライン形式での開催は、交通費や宿泊費がかからず、自宅からでも気軽に大会に参加できることから、これまで様々な理由から会場に直接足を運ぶことができなかった会員の皆さんの大会参加を可能にするといった、思わぬメリットもありました。しかし、発表者の佇まい、汗や温もり、熱意や緊張、喜びや失望の息づかいが直接伝わってくる対面形式のもつ臨場感による魅力も捨てきれません。そこで第41回大会は2022年9月4日（日）の対面形式ワークショップと、大会の中核となる研究発表や総会を開催する9月10日（土）11日（日）のオンライン形式とを組み合わせた所謂ハイブリッド型での開催を計画しました。それが2021年6月、2022年にはコロナは終息していると根拠のない期待をしていた頃でした。

そして、この「ご挨拶」を書いている「今」は2022年8月1日、最初に書きましたようにオミクロン株の一種、「BA.5」やケンタウロス株が跳梁跋扈し、未だ感染終息の兆しどころかピークアウトすら見えてこない状態です。ハイブリッド型を選んだことが功を奏してワークショップを除くすべてのプログラムは、粛々と進行していくものと思われるのですが、今回の大会の目玉の1つとして、ここまで大切に温めてきた対面形式でのワークショップが感染拡大防止のための様々な制約のため、このままでは立ち行かなくなりそうです。「回帰、そして飛翔 ―人間性心理学に触れる―」のワークショップのテーマには、今一度、人間性心理学と呼ばれる心理学に立ち返り、それに触れ、いま一層の高みに飛翔するという思いから、ワークショップは実習中心の体験型を考えてきたのですが、講師の先生がたや参加者の皆さんの安全を考えますとワークショップのあり様を考え直さなければならぬように思えます。大会まであと1ヶ月となりました。もう暫く対面形式での実施の可能性について考えてみたいと思います。

日本人間性心理学会第41回大会 開催概要

テーマ

「回帰、そして飛翔」

会 期 2022年9月4日(日) ワークショップ(京都国際会館にて対面開催)
2022年9月10日(土)～11日(日) (Zoomによるオンライン開催)

主 催 日本人間性心理学会第41回大会準備委員会

大 会 HP <https://2022.c-jahp.com/>

準備委員
委員長 中西 龍一
事務局長 中西 美和
準備委員 河崎 俊博 倉戸由紀子 志野 静穂
(50音順) 志野 保正 原谷 直樹 細越 寛樹
宮井 研治 望月 洋介 吉野 真紀
顧問 倉戸ヨシヤ

大会補佐 大会推進委員 石田 妙美 榎本 光邦 三國 牧子

日本人間性心理学会事務局 村松 果多

大会日程
9月4日(日)
10:00～16:00 ワークショップ
9月10日(土)
9:30～10:30 口頭発表
11:00～12:00 口頭発表
13:00～15:00 準備委員会企画
16:00～18:00 自主シンポジウム
9月11日(日)
9:30～10:30 口頭発表
11:00～12:00 口頭発表
12:15～13:15 交流スペース
13:30～14:00 総会
14:30～15:30 奨励賞受賞記念講演
16:00～17:00 学会賞受賞記念講演

事務局 日本人間性心理学会第41回大会準備委員会 事務局
〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34
京都橘大学 中西龍一研究室気付
E-mail: 2022jhpc@gmail.com

9月4日(日) 京都国際会館

会場 1 501	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
	10:00～16:00 WS-1 新しい事例検討法 ピカジップ (PCAGIP) 村山 正治・村山 尚子								
会場 2 554	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
	10:00～16:00 WS-2 夢フォーカシング 田村 隆一								
会場 3 509	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
	10:00～16:00 WS-3 現象学からのアプローチ 大塚 類・遠藤 野ゆり								
会場 4 555	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
	10:00～16:00 WS-4 からだからのアプローチ 原口 芳明・土谷 薫								
会場 5 510	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
	10:00～16:00 WS-5 ゲシュタルト療法 倉戸 ヨシヤ・金子 周平・吉野 真紀・倉戸 由紀子								

9月10日(土) オンライン

	9:30～10:30	10:00	11:00	11:00～12:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	16:00～18:00	17:00	18:00
Zoom ルームA	9:30～10:30 □頭発表 I O-01 「対面すること」についての さらなる考究－意味の端緒、 コンステレーション、物語－ 竹井 夏生			11:00～12:00 □頭発表 II O-05 PCA の源流についての検討 －正本正によるロジャース理論の わが国への導入をめぐる－ 児玉 龍治					16:00～18:00 自主シンポジウム S-1 アンドロイドは人間性心理学の 夢を見るか？			
Zoom ルームB	9:30～10:30 □頭発表 I O-02 「主體的共感」が 精神的健康に与える影響 丸本 さくら			11:00～12:00 □頭発表 II O-06 強み介入における強み変数と 自尊感情、幸福感の関連の検討 中村 祐也				15:00 田代 順・古谷 順子 板倉 えりか・望月 洋介	16:00～18:00 自主シンポジウム S-2 3人で行う「個人」スーパービジョン と多声的カウンセリングという集団 的「自例」検討－その実践を振り返る			
Zoom ルームC	9:30～10:30 □頭発表 I O-03 不登校問題を考えるX －SC の効果的活用に向けて－ 寺田 道夫			11:00～12:00 □頭発表 II O-07 臨床心理学に貢献し得る ファミリー・グループ研究の 方向性の検討 －家族の体験共有に焦点を当てて 新村 信貴					16:00～18:00 自主シンポジウム S-3 オンライン EG カフェに 参加しませんか in 41 回大会 大下 智子・法眼 裕子			
Zoom ルームD	9:30～10:30 □頭発表 I O-04 感じられた感覚が言い表され ていくプロセスの検討 矢野 キエ (連名)			11:00～12:00 □頭発表 II O-08 マインドフルネス瞑想における 体験的变化について 土江 正司				15:00 高橋 寛子・飯嶋 秀治 吉良 安之・村里 忠之 森岡 正芳	16:00～18:00 自主シンポジウム S-4 概念化以前の、暗在的な身体知 の力の検証とその応用可能性			
Zoom ルームE				11:00～12:00 □頭発表 II O-09 臨床家の Personal Development からみた EG とフォーカシング体験 の意義 河崎 俊博 (連名)					16:00～18:00 自主シンポジウム S-5 ジェンドリン『プロセスモデル』 －実践哲学の息吹 得丸 智子・末武 康弘・古井戸 祐樹			
Zoom ルームF								15:00 三國 牧子・加藤 敬介 岡村 心平・押岡 大覚	16:00～18:00 自主シンポジウム S-6 人間性心理学、 そこまで言って委員会!?			
Zoom ルームG				司会：金子 周平 野村 陽子・土江 正司 森川 友子・横井 絃子 中西 龍一			13:00～15:00 準備委員会企画 共同基調テーマ： 帰帰、そして飛翔 －人間性心理学に魅せられて－		16:00～18:00 自主シンポジウム S-7 臨床家としての自己の成長過程 を考える 永野 浩二・河崎 俊博・益田 啓裕			
オンデ マンド	ポスター発表 9月10日(土)9:30～9月13日(火)17:00まで											

9月11日 日 オンライン

	9:30～10:30	10:00	11:00	11:00～12:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
Zoom ルームA	9:30～10:30 □頭発表Ⅲ O-10 多目的アプローチに対する David Murphy らの論駁から 再考する PCT I ー論争における概念的整理ー 並木 崇浩 (連名)		11:00～12:00 □頭発表Ⅳ O-15 多目的アプローチに対する David Murphy らの論駁から 再考する PCT II – Levinas に よる他者性の観点からー 白崎 愛里 (連名)								
Zoom ルームB	9:30～10:30 □頭発表Ⅲ O-11 インタラクティブ・フォーカシング 指向カウセンシングの効果の 検討 酒井 久実代		11:00～12:00 □頭発表Ⅳ O-16 多声的環境による 「経験の言語化」の試み 高松 里(連名)								
Zoom ルームC	9:30～10:30 □頭発表Ⅲ O-12 体験過程の干渉作用 ー過去イメージにアクセスした 事例をもとにー 星加 博之		11:00～12:00 □頭発表Ⅳ O-17 ベリックエンカウンター・グ ループの体験報告とその考察 ー自己理解の深まりとオンライン 形式の検討ー 菱谷 康代								
Zoom ルームD	9:30～10:30 □頭発表Ⅲ O-13 心理機能としてのジョーティ シユー-新たな心理支援の可能性 としてー 山口 豊		11:00～12:00 □頭発表Ⅳ O-18 コロナ禍での電話相談の 役割とこれからの可能性 法眼 裕子								
Zoom ルームE	9:30～10:30 □頭発表Ⅲ O-14 オープン・ダイアログにおける バーソン・センタード・セラピスト の課題 押江 隆(連名)		11:00～12:00 □頭発表Ⅳ O-19 初心セラピストと円熟セラピスト の自己開示体験と職業的発達 の異同に関する研究 草岡 章大								
Zoom ルームG				12:15～13:15 交流スペース		13:30～ 14:00 総会		14:30～15:30 奨励賞受賞 記念講演 「今ここ」にある 過去		16:00～17:00 学会賞受賞 記念講演	
オンデ マンド	ポスター発表 9月10日(土)9:30～9月13日(火)17:00まで										

参加者の皆さまへのご案内

■参加受付

受付はございません。各自、第41回大会サイトでご案内する参加者用マニュアルに記載された手順に従って、参加を希望する Zoom のミーティング等にご参加ください。

■領収書発行について

領収書は大会終了後、9月12日(月)10:00～10月31日(月)23:59の期間中、下記のサイトに「領収書発行」ページがオープンいたしますので、ご自身でご発行頂きますようお願いいたします。

<https://va.apollon.nta.co.jp/2022jhpc/>

■大会参加にあたっての留意事項

大会の録音・録画・画面共有・スクリーンショットの撮影等は禁止となっております。
資料の撮影や再配布等もおやめください。申込時に入力されたアカウントで参加頂けるのはお申込者本人のみです。1つのアカウントで複数人の参加はご遠慮ください。

■大会期間中の問い合わせ窓口

大会期間中に何かございましたら、下記のアドレスまでご連絡ください。

オンラインに関連した問い合わせ：help2022jhpc@gmail.com

その他、大会全般に関する問い合わせ：2022jhpc@gmail.com

■大会に関する情報発信について

第41回大会ホームページにて、随時、情報を発信しております。2022.c-jahp.com

また、大会 Twitter アカウントを開設しています。大会に関するアナウンスをすることがありますのでご活用ください。twitter.com/2022jhpc

■臨床心理士継続研修の申請手続き

大会参加とワークショップ参加はそれぞれ別途、ポイントが発生します。領収書(コピー可)が大会・ワークショップの参加の証明として使用できます。学会期間終了後、システム上に「領収書発行」ボタンが出るようになります。そこをクリックして頂くと、「新規領収書入力」ができる画面に行きつきます。そこで、宛名(ご自身で入力)、金額(入金額内の金額であれば、大会参加とワークショップに分けて発行可能)を入力して頂き、但し書きの選択肢を選んでください。領収書は大切に保管して、各自で申請してください。

※9月11日(日)に開催される奨励賞受賞記念講演(一般公開・無料)および、学会賞受賞記念講演(一般公開・無料)のみの参加ではポイント申請できませんので、ご注意ください。

■大会事務局の連絡先

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34

京都橘大学 中西龍一研究室気付 事務局長 中西 美和

E-mail: 2022jhpc@gmail.com

※大会事務局へのご連絡は、メールをお願いいたします。

座長の先生方へのご案内

■座長の役割について

座長の仕事は、司会進行、発表者とフロアのディスカッションのファシリテート、コメント等です。ご自分のスタイルでお役をおつとめください。本大会では、発表当日のやりとりをより大切にしたいと考え、「発表者から座長に事前の挨拶や連絡をしていただく必要はございません」とご連絡しております。もし、事前に発表者との打ち合わせが必要な場合は、大会事務局(2022jhpc@gmail.com)までご連絡を頂きますようお願いいたします。オンラインで難しいところもあろうかと存じますが、滞りのない進行をどうぞよろしくお願いいたします。

■発表時間について

ご担当の研究発表のルームは、事前にご連絡したミーティングルームとなります。発表開始10分前までにミーティングルームにお入りください。

発表前にスタッフより、オンライン発表に関する説明(発表の録画・録音の禁止、迷惑行為の禁止等)についてのアナウンスや確認)をいたします。

時間になりましたら、セッションの開始をお願いいたします。

次のセッションのために、時間内に発表が終わるようにご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

■欠席の際の連絡先について

諸事情により、万一座長をご担当いただくことができなくなった場合には、大会事務局(2022jhpc@gmail.com)までご連絡ください。

■座長マニュアルについて

後日、第41回大会サイトにマニュアルを掲載予定です。ご確認いただければ幸いです。

■大会事務局の連絡先

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34

京都橘大学 中西龍一研究室気付 事務局長 中西 美和

E-mail: 2022jhpc@gmail.com

※大会事務局へのご連絡は、メールでお願いいたします。

研究発表・自主シンポジウムを行う方へのご案内

1. 自主シンポジウム、口頭発表を行う方へのご案内

■ 安定した通信環境の確保

発表やディスカッションは Zoom 上で行います。各自、安定した通信環境の確保をお願いいたします。

■ 発表時間について

全ての発表者は、発表時間と発表会場を確認し、発表開始時刻10分前には Zoom のミーティングルームに入室してください。また、次のセッションがすぐに開始する場合がございますので、終了時間は厳守してください。

■ 発表者用マニュアルについて

第41回大会サイトにマニュアルを掲載予定です。事前にご確認ください。

■ 配布資料について

- 当日に Zoom の画面上で表示したい資料について
→ 各自で当日までにご準備ください。大会事務局に提出する必要はありません。
- ハンドアウトや参考資料などの配付資料について
→ 当日の参加者のみに配布したい場合は、Zoom のチャット機能を用いて、当日にその場で参加者にファイルを送ることが可能です。大会事務局に提出する必要はありません。
→ 事前に配布したい場合は、8/21(日)までに大会事務局(2022jhpc@gmail.com)まで資料をお送りください。メールのタイトルに、発表番号と発表代表者名をご記載ください。いただいた資料は、そのままでの形式・内容で、大会サイトから大会参加申込者全員が閲覧可能な形で掲示します。

2. ポスター発表(オンデマンド)を行う方へのご案内

■ 発表資料について

ポスター発表のページに掲載する発表資料は、大会事務局(2022jhpc@gmail.com)に8/21(日)までにお送りください。メールのタイトルに、発表番号と発表代表者名をご記載ください。発表資料が動画か否かで対応が異なりますので、以下を確認してご準備下さい。

- 非動画資料(パワーポイントのハンドアウトやワード・エクセル等で作成したもの)は、最終的に jpeg 形式で掲載することを基本とするため、jpeg 形式でのご提出をお願いいたします。ご自身で jpeg 形式にすることが難しい場合には、事務局で jpeg 形式に変換しますが、画質が劣化する可能性があることをご了承ください。jpeg 以外の形式のままで掲載を希望される方は、その旨をメールにてお知らせください。
- 動画資料(Zoom やパワーポイント等の動画撮影機能を用いて作成したもの)は、その動画を閲覧できる URL をポスター発表のページに掲載いたします。ご自身で外部の動画共有サイト(YouTube の限定公開、Dropbox や Google ドライブのリンク機能、など)を用いて、ダウンロードを不可にするなどご自身で必要な制限をかけた上で作成した URLを事務局にお知らせください。ご自身で URL を作成することが難しい場合には、事務局までご相談ください。

■ 質疑応答について

ポスター発表のページに、質疑応答用コメント欄を設けます。すべてのコメントに対して回答する義務はありませんが、質問等が確認できた際には、適宜ご回答等をお願いいたします。具体的な質疑応答用コメント欄の使用方法については、第41回大会サイトにマニュアルを掲載予定ですので、事前にご確認ください。

■ ポスター発表の閲覧可能期間について

ポスター発表は、大会終了2日後の2022年9月13日まで閲覧可能となります。それまで、質疑応答用コメント欄も使用可能です。

3. 発表の取り消しについて

やむを得ない事情で発表を取り消す場合は、必ず書面またはメールにて大会事務局(2022jhpc@gmail.com)にご連絡ください。

発表開始時刻になっても発表者がZoomのミーティングルームに入室しない場合、原則的に発表開始時刻から15分経過した時点で、発表は取り消し扱いとします。

ランチタイム交流スペースのご案内

前回大会に引き続き「ランチタイム交流スペース」をZoomで開催いたします。

オンラインにはなりますが、集まった皆さんと自由に交流できる場になればと思います。ご希望があれば、ブレイクアウトルームで分かれて少人数でお話することも可能です。自由な交流の場として皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。

ランチタイム交流スペース担当 石田 妙美、榎本 光邦、三國 牧子

講演一覧

9月10日(土) 13:00～15:00

会場：Zoom によるオンライン(ルーム G)

準備委員会企画

p18

司会：金子 周平(九州大学・日本人間性心理学会 理事長)

共同基調テーマ

回帰、そして飛翔

一人間性心理学に魅せられてー

野村 陽子(PCA／協立総合病院)

土江 正司(からだからのアプローチ／一心塾)

森川 友子(フォーカシング／九州産業大学)

横井 紘子(現象学／十文字学園女子大学)

中西 龍一(ゲシュタルト療法／京都橘大学)

9月11日(日) 14:30～15:30

会場：Zoom によるオンライン(ルーム G)、オンデマンド配信

奨励賞受賞記念講演(一般公開)

p19

司会：池田 豊應(元 愛知学院大学)

「今ここ」にある過去

田中 秀男(関西大学)

9月11日(日) 16:00～17:00

会場：Zoom によるオンライン(ルーム G)、オンデマンド配信

学会賞受賞記念講演(一般公開)

p20

司会：金子 周平(九州大学・日本人間性心理学会 理事長)

私と人間性心理学

パーソンセンタード・アプローチ(PCA)と

フォーカシング指向アプローチ(FOA)を中心に

伊藤 義美(名古屋大学 名誉教授)

ワークショップ一覧

9月4日(日) 10:00～16:00

於：京都国際会館

コース	テーマ	講 師	会 場	ページ
WS-1	新しい事例検討法 ピカジップ(PCAGIP)	村山 正治 (九州大学 名誉教授・東亜大学大学院 教授) 村山 尚子 (心理教育研究所赤坂主宰)	501	22
WS-2	夢フォーカシング	田村 隆一 (福岡大学人文学部 教授)	554	23
WS-3	現象学からのアプローチ	大塚 類 (東京大学 准教授) 遠藤 野ゆり (法政大学 教授)	509	24
WS-4	からだからのアプローチ	原口 芳明 (元愛知教育大学 教授) 土谷 薫 (言語聴覚士)	555	25
WS-5	ゲシュタルト療法	倉戸 ヨシヤ (大阪市立大学 名誉教授) 金子 周平 (九州大学 准教授) 吉野 真紀 (日本福祉大学 准教授) 倉戸 由紀子 (追手門学院大学 名誉教授)	510	26

自主シンポジウム一覧

9月10日(土) 16:00～18:00

Zoom によるオンライン

No	タイトル・発表者	会 場	ページ
S-1	アンドロイドは人間性心理学の夢を見るか？ 企画・話題提供：押江 隆¹⁾ 話 題 提 供：田中 秀男²⁾、上西 裕之³⁾ 指 定 討 論：高橋 紀子⁴⁾ 1) 山口大学、2) 関西大学、3) 大阪大谷大学、4) 九州大学	ルーム A	28
S-2	3人で行う「個人」スーパービジョンと多声的カウンセリングという 集团的「自例」検討 ―その実践を振り返る 司 会：田代 順¹⁾ 話題提供：古谷 順子²⁾、板倉 えりか³⁾ 指定討論：望月 洋介⁴⁾ 1) ナラティブ・アプローチ研究室／恵比寿カウンセリングオフィス、 2) 白石メンタルクリニック、3) 山梨県スクールカウンセラー、4) 浜松医科大学 精神科	ルーム B	29
S-3	オンライン EG カフェに参加しませんか in 41回大会 企画者・ファシリテーター：大下 智子¹⁾、法眼 裕子²⁾ 1) 陸上自衛隊、2) 赤羽田中クリニック	ルーム C	30
S-4	概念化以前の、暗在的な身体知の力の検証とその応用可能性 司 会：高橋 寛子¹⁾ 話題提供：飯嶋 秀治²⁾、吉良 安之³⁾、村里 忠之⁴⁾、森岡 正芳⁵⁾ 1) 山梨英和大学 人間文化学科、2) 九州大学 人間環境学研究院、3) 九州大学 名誉教授、 4) 村里心理療法研究所、5) 立命館大学 総合心理学部	ルーム D	31
S-5	ジェンドリン『プロセスモデル』 ―実践哲学の息吹 司 会：得丸 智子¹⁾ 話題提供：末武 康弘²⁾、得丸 智子¹⁾ 指定討論：古井戸 祐樹³⁾ 1) 開智国際大学 国際教養学部、 2) 法政大学 現代福祉学部 臨床心理学科・大学院 人間社会研究科、 3) 早稲田大学大学院 教育学研究科 日本学術振興会特別研究員 DC2	ルーム E	32
S-6	人間性心理学、そこまで言って委員会!? 司会：三國 牧子¹⁾ 話題提供：加藤 敬介²⁾、岡村 心平³⁾、押岡 大覚⁴⁾ 1) 九州産業大学 人間科学部、2) 堀クリニック、3) 神戸学院大学 心理学部、 4) 聖泉大学 人間学部	ルーム F	33
S-7	臨床家としての自己の成長過程を考える 永野 浩二¹⁾、河崎 俊博²⁾、益田 啓裕¹⁾ 1) 追手門学院大学 心理学部、2) 京都橘大学 健康科学部	ルーム G	34

口頭発表一覧

口頭発表Ⅰ

9月10日(土) 9:30～10:30

Zoom によるオンライン

No	タイトル・発表者	座 長	会 場	ページ
O-01	「対面すること」についてのさらなる考究 —意味の端緒、コンステレーション、物語 竹井 夏生(産業技術短期大学)	久羽 康	ルーム A	36
O-02	「主体的共感」が精神的健康に与える影響 丸本 さくら(九州大学 人間環境学府 実践臨床心理学専攻)	白井 祐浩	ルーム B	37
O-03	不登校問題を考えるX —SC の効果的活用に向けて— 寺田 道夫(東海学院大学)	嘉島 領子	ルーム C	38
O-04	感じられた感覚が言い表されていくプロセスの検討 矢野 キエ(大阪キリスト教短期大学) ※連名	田中 秀男	ルーム D	39

口頭発表Ⅱ

9月10日(土) 11:00～12:00

Zoom によるオンライン

No	タイトル・発表者	座 長	会 場	ページ
O-05	PCA の源流についての検討 —正木正によるロジャーズ理論のわが国への導入をめぐる— 児玉 龍治(龍谷大学)	川上 範夫	ルーム A	40
O-06	強み介入における強み変数と自尊感情、 幸福感の関連の検討 中村 祐也(帝塚山大学大学院 心理科学研究科 心理科学専攻)	細越 寛樹	ルーム B	41
O-07	臨床心理学に貢献し得るファミリー・グループ研究の 方向性の検討 —家族の体験共有に焦点を当てて— 新村 信貴(九州大学大学院 人間環境学府 人間共生システム専攻 博士後期課程)	安部 恒久	ルーム C	42
O-08	マインドフルネス瞑想における体験的变化について 土江 正司(心身教育研究所)	池見 陽	ルーム D	43
O-09	臨床家の Personal Development からみた EG とフォーカシング体験の意義 河崎 俊博(京都橘大学健康科学部) ※連名	中田 行重	ルーム E	44

口頭発表Ⅲ

9月11日(日) 9:30～10:30

Zoom によるオンライン

No	タイトル・発表者	座 長	会 場	ページ
O-10	多元的アプローチに対する David Murphy らの論駁から再考する PCT I ― 論争における概念的整理 ― 並木 崇浩(愛知淑徳大学 学生相談室) ※連名	森岡 正芳	ルーム A	45
O-11	インタラクティブ・フォーカシング指向カウンセリングの効果の検討 酒井 久実代(和洋女子大学 人文学部 心理学科)	森川 友子	ルーム B	46
O-12	体験過程の干渉作用 ― 過去イメージにアクセスした事例をもとに ― 星加 博之(関西大学)	田村 隆一	ルーム C	47
O-13	心理機能としてのジョーティシュ ― 新たな心理支援の可能性として ― 山口 豊(東京情報大学 総合情報学部 心理学研究室)	濱野 清志	ルーム D	48
O-14	オープン・ダイアログにおける パーソン・センタード・セラピストの課題 押江 隆(山口大学 教育学部) ※連名	村久保 雅孝	ルーム E	49

口頭発表Ⅳ

9月11日(日) 11:00～12:00

Zoom によるオンライン

No	タイトル・発表者	座 長	会 場	ページ
O-15	多元的アプローチに対する David Murphy らの論駁から再考する PCT II ― Levinas による他者性の観点から ― 白崎 愛里(東大阪 DV 専門相談) ※連名	森岡 正芳	ルーム A	50
O-16	多声的環境による「経験の言語化」の試み 高松 里(九州大学) ※連名	尹 成秀	ルーム B	51
O-17	ベーシックエンカウンター・グループの体験報告とその考察 ― 自己理解の深まりとオンライン形式の検討 ― 菱谷 康代(跡見学園女子大学 人文科学研究科 臨床心理学専攻)	三國 牧子	ルーム C	52
O-18	コロナ禍での電話相談の役割とこれからの可能性 法眼 裕子(赤羽田中クリニック、日本臨床心理士会)	佐々木 英和	ルーム D	53
O-19	初心セラピストと円熟セラピストの自己開示体験と職業的発達の違いに関する研究 草岡 章大(北海道大学 医学部 保健学科)	土井 晶子	ルーム E	54

ポスター発表一覧

9月10日(土) 9:30～ 9月13日(火) 17:00

オンデマンド

No	タイトル・発表者	ページ
P-01	20代の若者における率直で受容的な交友関係の保持とそれに関連する心理社会的要因 柴橋 祐子(千葉工業大学 情報科学部)	56
P-02	ヒューマンインターラクション・ラボラトリーのコアを探る ー19年間の山梨 HIL のねらいの分析を通してー 文珠 紀久野(山梨県立大学)	57
P-03	臨床心理初学者を対象とした遠隔形式での WISC-IV トレーニングの試行 ー所見・フィードバックに焦点を当ててー 山口 祐子(帝塚山大学 心理学部) ※連名	58
P-04	若手スクールカウンセラーの困りごとや不安に関する質的研究 濱村 星花(九州産業大学大学院 国際文化研究科) ※連名	59
P-05	ひきこもり支援団体における相談者の縦断的研究 ー行動範囲と対人交流の視点からー 中地 展生(帝塚山大学 心理学部) ※連名	60
P-06	犯罪被害者遺族のサポート・グループに対する グラウンデッド・セオリー・アプローチによる質的研究 佐々木 健太(みやぎ被害者支援センター)	61
P-07	コーチが選手に体感させた関係性の影響:「見守られ感」についての語りから 恒松 聡一郎(九州大学 人間環境学府)	62
P-08	オンライン・ベーシック・エンカウンター・グループの効果に関する研究 ー個人過程と BEG 効果測定尺度よりー 石田 妙美(東海学園大学 教育学部) ※連名	63
P-09	フォーカシング学習者のフォーカシング活用状況についての予備的研究 三宅 麻希(四天王寺大学)	64
P-10	長期フォローアップからみた学生を対象とした T グループの意義 川島 恵美(関西学院大学 人間福祉学部) ※連名	65
P-11	年齢・性別・業種・役職別にみた日常における フォーカシング的経験の特徴:FES-TR を用いたウェブ調査から 岡村 心平(神戸学院大学 心理学部) ※連名	66
P-12	コロナ禍における労働者世代のフォーカシング的経験の特徴と ワークファミリーバランスとの関連の検討 越川 陽介(関西医科大学 精神神経科学講座、神戸学院大学 心理学部) ※連名	67

Handwriting practice lines consisting of 25 horizontal dashed lines.

講演

準備委員会企画

共同基調テーマ

回帰、そして飛翔 ―人間性心理学に魅せられて―

日本人間性心理学会第41回大会では、大会のテーマを「回帰、そして飛翔」といたしました。そのテーマのもと、ワークショップにあります人間性心理学を代表する立場への回帰が、今後の一層の飛翔を産む契機となることを願ってこの準備委員会企画をたてました。

具体的にはワークショップと同じく5つの立場の講師にご登壇を頂き、「私にとっての〇〇」といったテーマでご発表頂き、人間性心理学と共に生きることの意味と、そこから見える今後の課題について、司会や講師の先生がたを含め、参加者全員で考え語り合う場、分かち合う場としたと考えています。私たちと共に、回帰への旅をご一緒しませんか。

日 時：2022年9月10日（土） 13:00～15:00

方 法：ルーム G (Zoom)

※詳細は第41回大会サイト(2022.c-jahp.com)にてご案内いたします。

登壇者：

金子 周平 先生(司会／九州大学・日本人間性心理学会 理事長)

大会テーマの「回帰、そして飛翔」にありますように、本企画では多様な立場で活躍される先生方のお話の中から、それぞれの原点回帰を見出したいと思います。また人間性心理学の共通言語による対話から、飛翔の方向を発見できる時間になることを期待しつつ、司会を務めたいと思います。

野村 陽子 先生(PCA／協立総合病院)

この度、村山正治先生、尚子先生のご紹介を頂き「私にとってのPCAGIPの魅力」についてお話させて頂く野村陽子と申します。私は、2016年から総合病院で職員のメンタルヘルスの一環として実施・継続してきたPCAGIPの魅力を、皆様に存分にお伝えしたいと今からワクワクしております。

土江 正司 先生(からだからのアプローチ／心塾)

フォーカシングとヨガ、そして仏教に長く興味を持って関わってきましたので、その三者は私の中で次第に理論としても行法としても一体化してきた感覚があります。たとえば筋肉とフェルトセンスの類似性、またフォーカシングが仏教に与える影響などについて話題提供したいと考えています。

森川 友子 先生(フォーカシング／九州産業大学)

「私にとってのフォーカシング」を担当いたします、九州産業大学の森川友子です。大学生の頃に村山正治先生の元でフォーカシングを学び始め、以降、からだは嘘をつかない・ごまかしが効かないことに惹かれてきました。私の話を一例として、皆様の「私にとってのフォーカシング」もたくさん共有できたらと思っています。

横井 紘子 先生(現象学／十文字学園女子大学)

保育者養成大学で、子どものこと、保育のことを学生と一緒に学び続けています。学生時代に子どもの遊びの面白さと奥深さに魅了され、「面白い」「すごい」という素朴な感動や驚きをそのままに掘り下げて言葉にしたいと這い回っていた時に、現象学に出会いました。どうぞよろしくお願いいたします。

中西 龍一(ゲシュタルト療法／京都橘大学)

二十歳台半ばの頃、ゲシュタルト療法に出会い、目の前で展開する cognitive change に唯々圧倒された経験から私のゲシュタルト歴は始まります。それから幾星霜、気がつけば定年を迎える歳となっていました。その間ずっとゲシュタルトは優しかった。傍らを一緒に歩んでくれたように思います。そんなゲシュタルトの話がしたいです。

口頭発表

O-01

座長：久羽 康

「対面すること」についてのさらなる考究 —意味の端緒、コンステレーション、物語

○竹井 夏生

産業技術短期大学

keyword：パンデミック、対面すること、レヴィナス

【はじめに】パンデミックは人々から「対面すること」を奪ったが、そのことは「対面すること」を旨として生きてきた私たちセラピストにただならぬ危機をもたらした。そのような状況の中で筆者は先般、「対面すること」についての論考を本誌に寄稿したが(竹井, 2022)、そこからさらに「対面すること」についての考察を展開したい。

【「暴力」、「顔」】このパンデミック状況下において、「対面すること」には「暴力」が孕まれると指摘したのは斎藤(2020)である。ここでいう「暴力」とは、他者に対面した状況において、「私」が被る肯定／否定を問わないあらゆる圧や負荷のことである。そこには知覚や意識を超えた水準に及ぶ被りがあるように思われるし、むしろそのような被りこそが「対面すること」の唯一性や固有性を担保しているように思われる。いわば私たちは他者に対面しながら、気が付くことも捉えることもできないままに、すでに「暴力」の被りを負っている。それはレヴィナスのいう、他者の「顔(visage)」に通じる。「顔」は知覚や意識によって捉えることのできるものではない。「顔」は現象を超えている。「私」の知覚や意識といった能動性が作動する手前において、「顔」はすでに「私」を捕えてしまっている。そして「顔」はその苦しみをもって、「私」がそこに参与することを命じている。この命令に対して「私」に自由は与えられていない。なぜならそのような自由が発動する手前において、すでにその命令は「私」を捕え、「私」はそこに深く関係づけられているからである。それが「対面する」という状況であり、そこで起こっていることであり、またその唯一性や固有性と言えるものである。

【意味の端緒、コンステレーション、物語】このような状況に留め置かれてはじめて、「私」は意味の端緒

を得ることができる。「対面すること」に孕まれる「暴力」が意味生成を惹起するのである。そしてその端緒はやがて他者も「私」もそこに深く関係づけられたものとしての一つのコンステレーションを「私」に開示する。そこで「私」は他者に「無関心／無関係ではありえないもの(non-indifférence)」となりながら、その苦しみに参加していくことになる。そしてこのコンステレーション、他者と「私」を深く関係づけつつ、さらにそれを包括するさまざまな事象・心象が縦横無尽に結びつき形成されたコンステレーションは「物語」の母胎となる。河合(1993)は言う、「コンステレーションというのは…これを展開していくと物語になる。そして、物語ということによってこそ、コンステレーションは非常にうまくみんなに伝えられるのではないか」。つまり、「対面すること」に孕まれる「暴力」が、意味生成やコンステレーションの開示、そして物語の母胎になっているのである。そこに「対面すること」の唯一性や意義を見出すことができるように思われる。

【文献】発表時の資料に提示する。

ポスター発表

P-01

20代の若者における率直で受容的な交友関係の保持と
それに関連する心理社会的要因

○柴橋 祐子

千葉工業大学 情報科学部

【目的】本研究では、20代の若者を対象に、率直で受容的な交友関係の保持(以下、「友人保持」と記す)に着目し、その心理社会的背景を検討する。社会的側面としては、就業状況、性別、SNSによる新たな友人構築の状況、心理面として孤独感(人間同士理解共感できるという次元と人間の個別性の自覚に関する次元の2側面)と共感性(影響性、他者指向的反応、想像性、視点取得、自己指向的反応の5側面)をとりあげる。

【方法】2021年8月中旬にオンライン調査により実施した。参加者は、首都圏近郊在住の20代の男子139名、女子141名、不明5名の計285名。質問項目は、就業状況、性別、ネット上での新たな交友経験、「友人保持」に関する独自に作成した12項目、孤独感尺度LSO(落合, 1998)、多次元共感性尺度(MES)(鈴木・木野, 2008)であった。

【結果】「友人保持」の項目について主成分分析を行ったところ、1因子構造と判断され、尺度の内的整合性が確認された($\alpha=.94$)。12項目の平均を「友人保持」得点とした。全体でみると「友人保持」(5段階)の平均が4以上(ある程度いる、かなりいる)42%で、2以下(あまりいない、まったくいない)は16%であった。就業状況により、「友人保持」、孤独感、共感性で有意差がみられた。「友人保持」は自営業、学生、正規雇用、非正規雇用、無職の順で高く、人間同士理解共感可能とする孤独感、および共感性の4側面(被影響性を除く)、およびネット上での新たな交友経験においては、無職が他に比べて低かった。次に、孤独感の2側面、共感性の5側面、および就業状況、性別、ネット上での新たな交友経験の諸側面が「友人保持」にどのように関連しているのかを検討するため、重回帰分析を行った。その結果、ネット上での新たな交友

経験、人間同士理解共感できるという孤独感、他者指向的反応の共感性は正の、無職は負の有意な関連がみられた。

【結論】20代の若者を対象にコロナ禍のもとで行った本調査から、率直にやり取りができ受容的な交友関係を有していたのは4割余りで、一方、ほとんどいないという者が2割弱みられた。SNS利用が急増している中でも、自分の考えや思いを表現し受け止めてもらえるような交友がほとんどないという者は少なくないことが伺われる。また、人間同士理解共感可能であると思えるかどうか、他者の痛みや悲しみに寄り添い共感できるかどうかは「友人保持」と深くつながることが示唆された。就業形態でも大きな違いが見られ、とりわけ無職の者ではこれらの2つの心理面が低く、ネット上での新たな交友経験も少なかったことから、交友関係が築かれにくく、孤立しやすい状況にある可能性が見いだされた。

日本人間性心理学会 歴代大会一覧表

回	日 程	会 場	大会長*・準備委員長	事務局長・次長*
1	1982年7月10日～11日	京都女子大学	畠瀬 稔	
2	1983年9月10日～11日	YMCA アジア青少年センター	水島 恵一	
3	1984年10月15日～16日	名古屋大学	村上 英治	
4	1985年10月19日～20日	日本女子大学	杉溪 一言	
5	1986年9月27日～28日	大阪大学人間科学部	梶田 叡一	
6	1987年9月11日～13日	法輪閣、団参会館	恩田 彰	星野 命
7	1988年9月1日～4日	明治学院大学横浜校舎	神保 信一	
8	1989年9月2日～5日	龍谷大学深草校舎	西光 義敏	畠瀬 直子
9	1990年9月6日～9日	東京家政大学狭山校舎	橋口 英俊	
10	1991年11月14日～17日	福岡大学セミナーハウス、九州大学教養部	村山 正治	野島 一彦
11	1992年11月5日～8日	東京大学山上校舎・安田講堂	見藤 隆子	広瀬 寛子
12	1993年9月2日～5日	大阪市立大学、大阪女学院短期大学	倉戸 ヨシヤ	倉戸 由紀子
13	1994年9月15日～18日	東京農業大学、文化服装学院	岸田 博	清水 幹夫
14	1995年9月14日～17日	愛媛大学教育学部、子規記念博物館	福井 康之	
15	1996年9月13日～16日	名古屋大学情報文化学部、大学院人間情報学研究科	伊藤 義美	
16	1997年9月12日～15日	文教大学越谷校舎	水島 恵一	上杉 喬
17	1998年9月12日～15日	追手門学院大学	小花和 昭介	井上 知子
18	1999年10月9日～11日	京都文教大学	越智 浩二郎*・林 昭仁	
19	2000年9月29日～10月1日	長崎純心大学	児島 達美*・大野 弘之	
20	2001年8月31日～9月3日	札幌学院大学	滝沢 広忠	
21	2002年9月20日～23日	神戸女学院大学	池見 陽	古今堂 紘
22	2003年7月19日～21日	山梨英和大学	林 昭仁*・駒米 勝利	鎌田 誠
23	2004年9月3日～5日	文教大学越谷校舎	上杉 喬*・秋山 胖	渡邊 忠
24	2005年9月23日～25日	九州大学箱崎地区文系キャンパス	野島 一彦	吉良 安之
25	2006年11月3日～5日	愛知学院大学日進キャンパス	池田 豊應*	石川 雅健
26	2007年11月23日～25日	仁愛大学	福井 康之*・駒米 勝利	鎌田 道彦
27	2008年8月1日～3日	関西大学千里山キャンパス	中田 行重	
28	2009年8月28日～30日	法政大学多摩キャンパス	清水 幹夫	
29	2010年9月24日～28日	熊本大学	藤中 隆久	
30	2011年10月8日～10日	愛知教育大学	原口 芳明	
31	2012年9月21日～23日	宇部フロンティア大学	酒木 保	小山 典子
32	2013年9月14日～16日	大正大学	日笠 摩子	青木 聡
33	2014年10月11日～13日	南山大学	津村 俊充	中村 和彦
34	2015年9月12日～14日	聖カタリナ大学	坂原 明	森平 准次
35	2016年8月26日～29日	九州産業大学	三國 牧子	
36	2017年9月8日～10日	東海学園大学名古屋キャンパス	石田 妙美	大島 利伸
37	2018年9月14日～16日	人間環境大学岡崎キャンパス	伊藤 義美	三後 美紀 石田 妙美*
38	2019年9月22日～23日	跡見学園女子大学文京キャンパス	松本 剛	高橋 紀子
39	2020年9月4日～6日	群馬パース大学（オンライン開催）	榎本 光邦	上田 紋佳 藤木 大介*
40	2021年8月28日～29日、 9月5日	オンライン開催（事務局：九州大学）	金子 周平	山口 雄介
41	2022年9月4日 9月10日～11日	オンライン開催（事務局：京都橘大学）	中西 龍一	中西 美和

日本人間性心理学会 第41回大会
プログラム・発表論文集

大会準備委員長：中西 龍一

日本人間性心理学会 第41回大会準備委員会 事務局：

京都橋大学中西研究室気付

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34

E-mail：2022jhpc@gmail.com

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>